

日本伝統工芸とデザイン

- 日本の伝統工芸の輝きを次の世代へ -

講演者：矢島 里佳 実施日：平成27年7月11～13日 於：スペイン・バルセロナ
共催：HASEKURA 2.0 Program

■ 派遣専門家：矢島里佳



株式会社和える(aeru)代表取締役

「21世紀の子どもたちに、日本の伝統をつなげたい」という想いから、0歳から6歳向けの伝統工芸の技術・素材を現代に活かした食器やおもちゃなどを制作・販売する「株式会社和える」を大学在学中に設立。若手起業家としても注目をされています。

■ 事業概要

● 7月11日 午後・12日 午前

カタルーニャ商業・手工業・ファッション協会によるイベント「THE CRAFTROOM」内で講演を行いました。「伝統工芸を熟練の手から小さな手へ 日本の若き女性起業家による新たな社会イノベーション」と題して、約120名ほどの聴衆に向けて、デザイナーと伝統工芸技術のコラボレーションにより子ども向け商品を開発している例を紹介しました。本年の展示会には、日本が招待国として招かれ、支倉プログラムがコーディネートした日本ブースで展示も行いました。

● 7月13日 午前

カタルーニャ商業・手工業・ファッション協会センター、Llotjaデザイン学校（大学含む）を訪問し、カタルーニャの伝統産業や手工業を視察しました。

● 7月13日 午後

スペインの公的文化施設カサ・アジアでも講演を行い、現地のデザイン業界関係者等の方との意見交換も行いました。

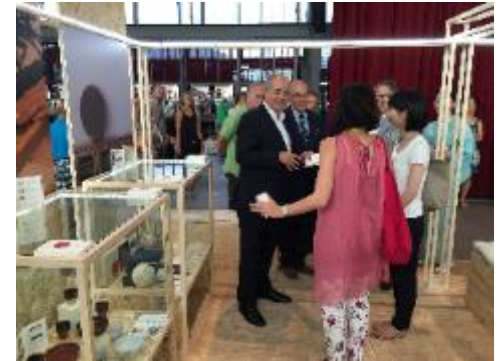
■ 実施結果

今回の講演については、現地の新聞、ウェブサイトなどでも数多く取り上げられました。これらの事業を通じ、日本とスペインの工芸関係者・職人の相互交流プロジェクトを開始するという計画が話し合われるなど、今後のビジネス展開につながるものとなりました。



【THE CRAFTROOMでの講演】

(写真提供：HASEKURA PROGRAM
<http://hasekuraprogram.com/>
<http://www.ccam.cat/ca/Cos/areesactuacio:artesanias:Setmana:2015>)



【ブッチ州企業労働庁長官の日本ブース訪問】



【カサ・アジアでの講演会】